

# 令和3年度 学校経営計画

岩手県立宮古北高等学校

## ◎ スローガン

### 進取と協働の気風に満ちた学園「宮北の森」の創造

## ◎ 重点目標

### 1 社会で求められる資質・能力を育む授業の充実

- (1) 「わかる授業」と計画的な家庭学習により基礎学力の定着を図る。
- (2) 体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力を育成するとともに、成果を積極的に発信して、論理的な情報発信力を育成する。
- (3) 校外研修や校内での互見授業などをおし「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業と学習評価の改善に取り組み、授業力向上を図る。

### 2 自らの将来をデザインする能力を育成するキャリア教育の充実

- (1) 社会人との交流や様々な体験活動をおして、勤労観・職業観を育成する。
- (2) 主体的に将来を設計するための人生観、先見性、情報活用力を育成する。
- (3) キャリアパスポートを活用した継続的・組織的な指導を行い、生徒の希望進路の実現を図る。

### 3 基本的生活習慣の確立

- (1) 挨拶、礼儀、整容、マナーなど、社会人として自立するための基本を身につける。
- (2) 自律的な生活習慣を確立し、心身の健康増進に努める。

### 4 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止

#### ～生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」の推進～

- (1) 部活動や「宮北の森」をはじめとする生徒会行事等の活性化を図り、他者との協調性、協働性を育成する。
- (2) 小規模校の特色を生かし、全員が主役となる活動により自己肯定感を得させる。
- (3) 読書活動や多様な他者との協働などにより豊かな心を育成し、いじめ防止対策を徹底して、安心安全な環境を確立する。

### 5 教育活動のユニバーサルデザイン化とわかりやすい指導

- (1) 教育活動のすべてにおいて、誰にでも理解できる表現や手法を用いる。
- (2) 特別支援教育に係る校内研修を行い、教職員の支援能力の向上を図る。

### 6 生徒一人ひとりの困り感の把握と自立に向けた適切な支援

- (1) 担任やSCによる面談を踏まえ、いじめ対策委員会や定例教育相談会を機能的に運用する。
- (2) 個別の支援計画等で生徒の情報を共有し、組織的なオーダーメイド支援を強化する。

### 7 地域との協働による魅力ある学校づくりの推進

- (1) 地域の魅力に関する学習や地域課題に関する探究活動をおして、地域への愛着、自地域肯定感を高め、地域の復興を担う人材としての意識を高める。
- (2) 積極的な情報発信とPTA、同窓会、地域住民との協働による魅力ある学校づくりを推進する。